

令和2年度「自己評価報告書」

社会福祉法人愛護会
たんぽぽ保育園

1、保育目標

- 健康で明るい子ども
- 豊かな心を持つ子ども
- 自分のことは、自分でできる子ども
- 他人のことを考え、協力できる子ども
- 何故だろうと考え、物事に疑問を持つ子ども
- 自然に親しみ、愛することのできる子ども
- 人の話をしっかり聞き、自分の言葉で話せる子ども

2、施設運営の重点課題

- 保育内容の充実
- 地域との交流の充実
- 郷土文化伝承の促進
- 地域の多様なニーズに合わせた子育て支援
- 風の子農園運営
- 保育園食育指導の充実
- 職員の資質向上

3、評価項目と取組み状況

評価の基準

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組んでいるが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

自己評価項目		評価	取組み状況
1	保育内容の充実	B	・「たくましい子を育てる」保育について話し合い、計画・実行・反省を繰り返しながら保育を進めた。 ・一人ひとりの家庭環境や発達をしっかりと捉え保育に取り組んだ。
2	地域との交流の充実	B	・コロナ感染防止のため、地域の方々との交流ができなかった。年度末、園内の子どもたちの様子を写真入りの文書で伝えた。

		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の隠れた場所・人材を発掘し、保育に生かす。 		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染防止のため、3密にならない場所を探し、園バスでかけた。5歳児はお泊り保育で、狛鼻溪の舟下りや鮎の塩焼きを食べる体験をした。
3	郷土文化伝承の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の昔から伝わる踊り「鬼剣舞」を保育に取り入れる 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染防止のため、地域の方々に披露できなかった。運動会に保護者に披露した。
4	地域の多様なニーズに合わせた子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・父母の勤務状況や地域の子育て家庭のニーズに応え、様々な保育を行う。 ・町関係・専門機関との連携を密にしながら、よりよい子育て環境を提供していく。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育・障がい児保育・一時保育・療育教室を行った。 ・町の保健師・療育教室・子育て支援センター・前沢明峰支援学校・サポートにじとの連携を図り、療育につなげた。
5	風の子農園運営	<ul style="list-style-type: none"> ・風の子農園の身近な自然に触れながら、働くことを喜び、育てる喜び、食べ物に対する感謝の気持ちを育てる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の2つの畑に各年齢が野菜を育て、収穫した野菜でクッキングを楽しんだ。収穫祭では「芋の子汁」園前の田んぼで「焼き芋」をして、食べ物への感謝する心を育んだ。
6	保育園食育指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「食を営む力」を育むため、保護者・地域との連携を深め、食べることや命への関心を高め、子どもの健やかな心と身体の健全育成を促す。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染防止のため、買い物等の交流は出来なかったが、産直等、地物の野菜を利用した。 ・文化祭では、「給食コーナー」の展示を行い、保護者、祖父母に食育について啓蒙できた。
7	職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に信頼される保育実践と力量を持った保育者を目指す ・キャリアアップ研修とチーム研修に取り組む。 ・保護者と共に「たくましい子像」について学びあう。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染防止のため、地域の方々との交流ができず、残念であった。 ・キャリアアップ研修は3年目を終えた。チーム研修は、「環境」「エピソード記述」「保護者支援」に分かれ、年4回行った。 ・前半「保護者保育体験」46名を受け入れ、保育と個別面談することで、職員の資質も高まっている。しかし、後半は、コロナ感染防止のため、できなかった。